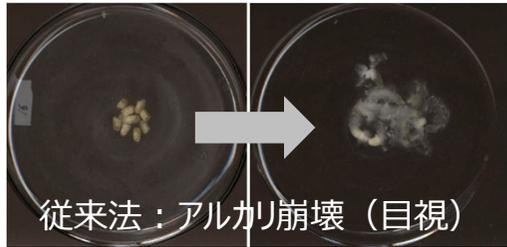


# データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発（第2回）

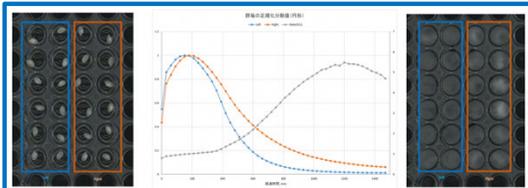
## デジタル技術を活用した日本酒製造条件管理技術の開発

**研究概要：**本研究開発は、日本の伝統文化である「日本酒」について、酒蔵の経営や人材確保といった課題をデジタル技術を活用し解決することを目指している。山形県では、中小規模の50以上の酒蔵が各々の特色を活かしながら地域のブランド化を強化している。地域の課題である「製造技術の保存と継承」、「労働負荷の軽減と持続的な確保」を解決するための研究を実施する。具体的には、①酒米溶解特性の定量化、②醪発酵特性分析、③仕込み工程のIoTモニタリングシステム構築といった内容に取り組み、3つの酒蔵で実証することで効果の検証を行う。このことにより、中小規模の酒蔵の経営を安定化し、日本酒文化の継承、さらなる発展が期待できる。

### ①酒米溶解特性の定量化



定量化



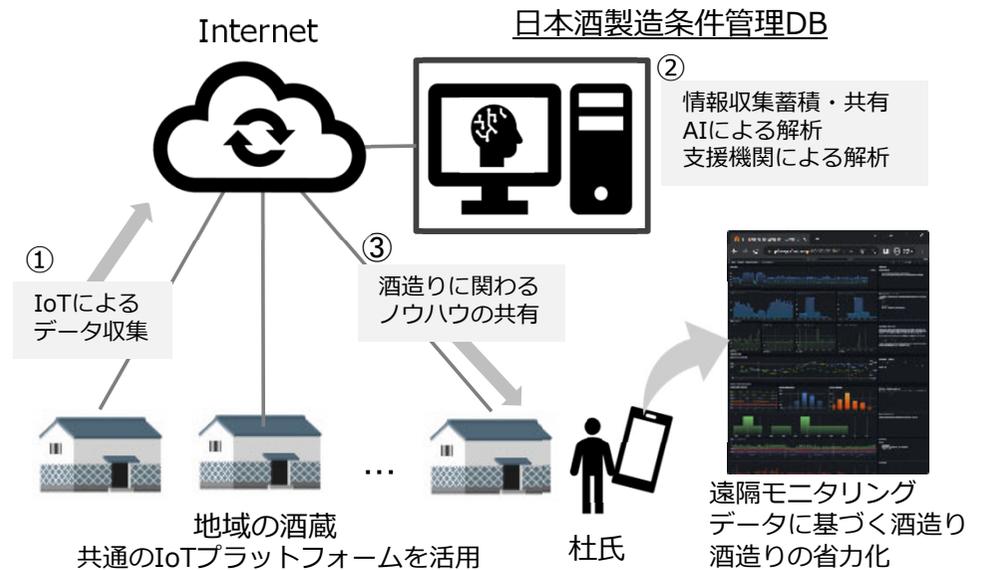
### ②醪発酵特性分析

各種センシング



「勘と経験」に寄らない醪発酵の把握と管理

### ③仕込み工程のIoTモニタリングシステム構築



【研究開発期間】 令和5年度から令和7年度まで

【受託者】 山形県（代表研究者）